

ワールド ウッド トレンド

No. 4, 19 JULY 2016

韓国の 2015 年の木材需給現状及び 2016 年の展望

1. 2015 年の木材需給の現状

(1) 供給

2015 年における国内木材供給量は、30,597 千 m³ と前年対比 1.3% 減少し、国産材と輸入材の供給量も減少した。輸入材は前年対比 0.6% (25,826→25,683 千 m³) 減少し、国産材は前年対比 5.1% (5,179→4,914 千 m³) 減少した。結果、国産材の自給率も 2014 年の 16.7% から 2015 年の 16.1% へと僅かながら減少した (表 1)。

表 1. 2015 年の木材需給現況 (単位: 千 m³)

区分		2014 年	2015 年	前年対比 増減 (%)
供給	計	31,005	30,597	▽1.3
	国産材	5,179	4,914	▽5.1
	輸入材	25,826	25,683	▽0.6
需要	計	31,005	30,597	▽1.3
	製材用	6,006	6,387	▲6.0
	合・単板用	3,148	3,254	▲3.3
	パルプ用	10,405	10,636	▲2.2
	ボード用	3,646	4,108	▲11.2
	バイオマス用	4,605	3,164	▽31.3
	その他	3,195	3,049	▽4.6

国産材の供給減少は、木材ペレットの代替材の登場によるバイオマスの需要減少が主な原因である。2012年から発電用木材ペレットの需要拡大でバイオマス供給量が急激に増加したが、廃材などの廃棄物で製造した固形燃料（バイオSRF）の輸入が2014年7月に許可されて以降、価格競争力が高いバイオSRFの輸入拡大によって2015年のバイオマス利用量は大幅に減少した（図1）。

一方、2015年における原油価格（国際原油価格：（2014年12月）67\$/バレル→（2015年12月）38\$/バレル）の下落による輸入価格の下落で製材用、合・単板用、パルプ用、ボード用の輸入量は少し増加した。しかし、発電用木材ペレットがバイオSRFへ代替され、木材ペレットの輸入量は大きく減少した（表2）。

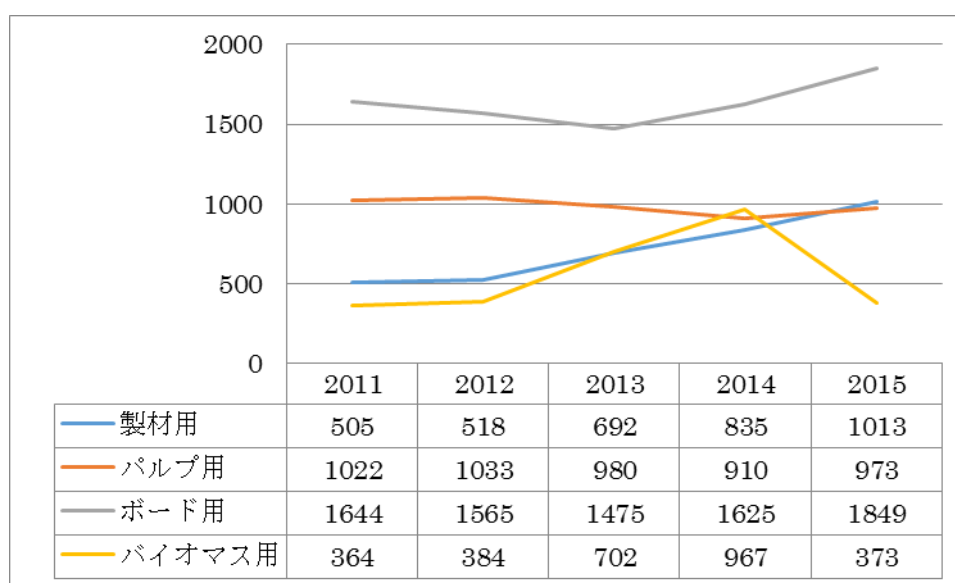


図1. 用途別の国産材供給の推移（単位：千 m³）

表2. 輸入量の現況（単位：千 m³）

	2014年	2015年	前年対比 増減 (%)
合計	25,826	25,683	▽0.6
製材用	5,171	5,374	▲3.8
合・単板用	3,143	3,249	▲3.3
パルプ用	9,495	9,663	▲1.7
ボード用	2,021	2,259	▲10.5
バイオマス用	3,638	2,791	▽23.3
その他	2,358	2,347	▽0.4

(2) 需要

2015年における木材需要量は、パルプ用(10,636千 m^3)が最も多く、次いで製材用(6,387千 m^3)、ボード用(4,108千 m^3)などの順であった。そのうち国産材は主にパルプ・ボード用に利用され、一部は合板・製材用に利用された。

2015年におけるボード用の利用量は4,108千 m^3 と前年対比(3,646千 m^3)11.2%増加した。MDFとPBは家具及びインテリア用に多く使用されるため消費者の体感景気及び内需景気に敏感に反応する。2015年にボード類製品の消費増加は国内リモデリング市場の成長によると分析される。すなわち、国内住宅の58%が建築後15年以上の老朽化した住宅のため、その住宅の性能改善の必要性が増加している動きに伴い、インテリアのリモデリング市場が大きく拡大した。

合板産業は2015年に新築住宅市場の好調に伴って合板・製材市場も前年対比5.1%(9,152→9,641千 m^3)増加を示した。

2015年におけるパルプの利用量は10,636千 m^3 と前年対比(10,405千 m^3)2.2%増加を示した。パルプ原材料は85%程度を輸入材に依存している製紙産業は為替による輸入価格に大きな影響を受ける。

一方、2015年に木材関連産業は好況の年になったが、原材料である原木価格は下落傾向を示した。国産原木価格は国内木材利用の80%以上を占めている輸入材の価格に大きな影響を受ける。国内原木輸入量の50%以上を占めているラジアタパインの2015年第二四半期価格(KA等級)は前年対比16.7%下落し、150,000ウォン/ m^3 だった(表3)。

国産マツ価格(1等級基準)も前年対比10.3%下落した236,900ウォン/ m^3 、カラマツ価格(1等級基準)も前年対比3.5%下落した145,400ウォン/ m^3 であった(表4)。

表3. ラジアタパインの原木価格(単位:ウォン/ m^3)

等級	国内販売価格		前年対比 増減(%)
	2014年第二四半期	2015年第二四半期	
KA	25,826	25,683	▽16.7
KS	5,171	5,374	▽17.0
KI	3,143	3,249	▽17.5

表4. 国産原木価格(単位:千 m^3)

区分		2014年第二四半期	2015年第二四半期	前年対比 増減(%)
マツ	1等級	264,200	236,900	▽10.3

	2 等級	215, 200	200, 800	▽6. 7
	3 等級	194, 000	183, 700	▽5. 3
カラマツ	1 等級	150, 600	145, 400	▽3. 5
	2 等級	142, 100	138, 700	▽2. 4
	3 等級	134, 700	133, 100	▽1. 2

2. 2016 年の木材市場の展望

韓国山林庁の木材需給計画によると、2016 年の木材需給量は前年対比少し増加するであろうと展望している（表 5）。韓国山林庁は 2016 年に国産材の供給計画を 5,000 千 m³ 程度に設定した。それは 2015 年の木材供給量（4,914 千 m³）対比 1.8% 増の予測である。

一方、2016 年における木材需給率の増加展望には、国内建築景気の好況があると思われる。2016 年に入ってからソウルを中心とするアパート再建築市場が活気を帯びるとともに建築景気と関連深い製材・合板産業も続いて成長すると展望している。そのほかにも最近アパートではベランダ以外には作り付けのたんすなど、すべてビルトインされた家具産業及びボード類産業も成長するであろうと展望している。

表-5. 2016 年の木材需給展望（単位：千 m³）

区分		2013 年	2014 年	2015 年	2016 年展望	
					計画	前年対比増減 (%)
供給	計	28, 151	31, 005	30, 597	30, 964	▲1. 2
	国産材	4, 897	5, 179	4, 914	5, 000	▲1. 8
	輸入材	23, 254	25, 826	25, 683	25, 964	▲1. 2
需要	計	28, 151	31, 005	30, 597	30, 964	▲1. 8
	製材用	5, 736	6, 006	6, 387	6, 764	▲5. 9
	合・単板	3, 015	3, 148	3, 254	3, 419	▲5. 1
	パルプ用	10, 926	10, 405	10, 636	10, 521	▽1. 1
	ボード用	3, 066	3, 646	4, 108	4, 487	▲9. 2
	バイオマス用	1, 865	4, 605	3, 164	2, 848	▽10. 0
	その他	3, 543	3, 195	3, 049	2, 925	▽4. 1
国産材自給率 (%)		17. 4	16. 7	16. 1	-	

（本文は現地レポートを基に編集したもの）